早稲田大学 大学院法学研究科

2027年度 修士課程入学試験問題（社会人入試）

【小 論 文】

社会人研究課題	「 国際海事問題の実務と法 」

次の各問から一問を選び、論述してください。
（答案冒頭に、選択した問題の番号を明記してください。）

① 船荷証券において、いわゆる「不知約款（unknown clause）」が利用される理由と、不知約款の効果およびその限界について

② 船主責任制限法、国際海上物品運送法等で採用されている、いわゆる「無謀行為」の概念について

③ 定期傭船契約の下で発行された船荷証券に関連して世界的に議論されてきている、いわゆる「運送人の特定問題」について

④ シップリサイクル条約が船舶制度にもたらす影響と課題について

⑤ 船舶に関連する日本の税制の問題点について

⑥ ロイズ海難救助契約標準書式（いわゆるLOF書式）の、救助者および被救助者にとっての意義と課題について

⑦ 国際海運において代替燃料によって生じ得る損害に関する、船主の民事責任を規律する条約の必要性とあり方について

⑧ 国際海上物品運送に商法の高価品特則が適用される（国際海運15条参照）ことの是非について

⑨ 裸傭船、定期傭船および航海傭船における、各傭船者の船主および第三者に対する義務と責任の相違について

⑩ 1910年船舶衝突条約と比較した、商法（2018年改正後）の船舶衝突規定について

以 上

答案の書き方（ 横書 ／ ■■ ） 六法全書の使用を（ 認める ／ ■■■■ ）